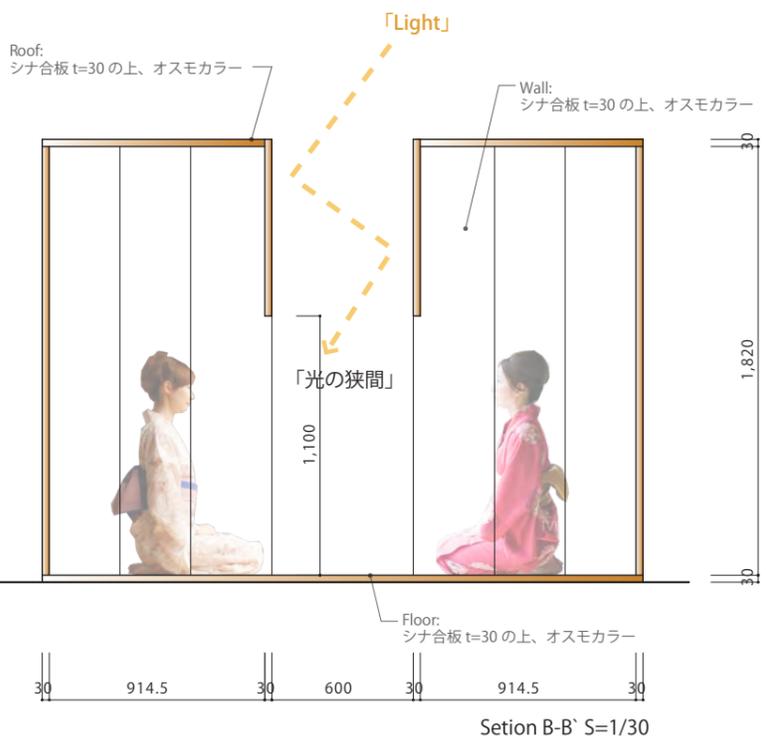
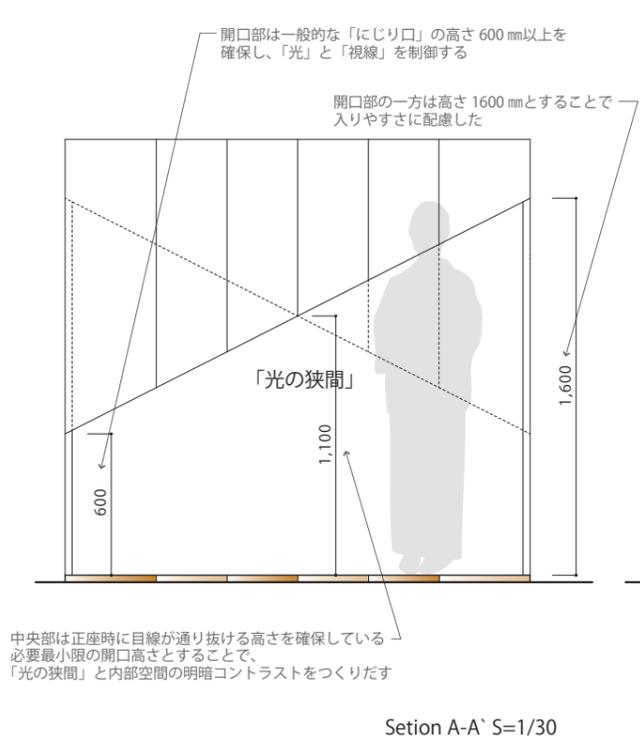
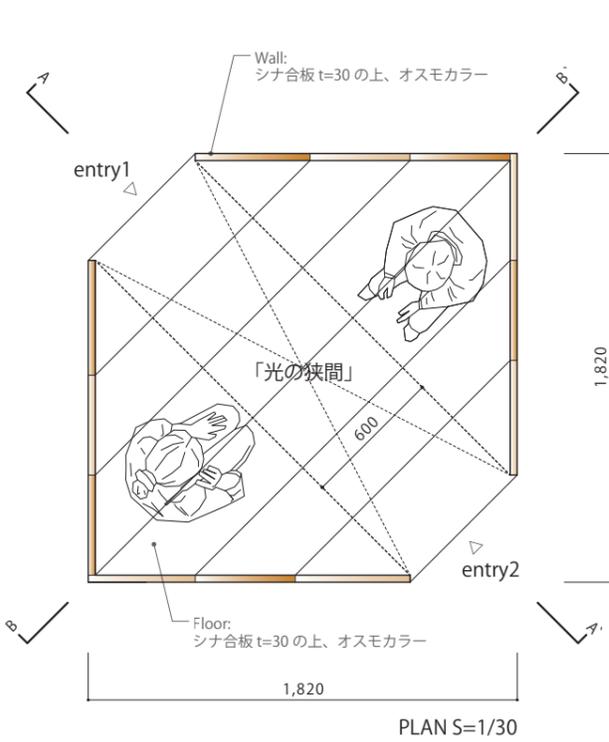




「Light Brank Tearoom」

交流とは自分と他者の領域がまじりあい、その狭間で何かしらのコミュニケーションが発生することと捉えた。よって、私は2帖空間の対角線上に「光の狭間」を挿入することで、あちら側とこちら側の2つの領域をつくりだし、光によって自分と他者の交流のかたちが顕在化された茶室を提案する。



中央部は正座時に視線が通り抜ける高さを確保している
必要最小限の開口高さとする事で、
「光の狭間」と内部空間の明暗コントラストをつくりだす